

卓上型真空包装機
SV-150

取扱説明書



- このたびは本機をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
- ご使用前に必ず取扱説明書を読んで、正しく作業してください。
- お読みになった後は必ず保管してください。

はじめに

このたびは真空包装機SV-150型をお買上げいただきまして、まことにありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。

お読みになったあとは、「保証書」とともに大切に保存してください。

目 次

安全上のご注意	2
1. ご使用になる前に	5
1-1 付属品の一覧	5
1-2 設置時のご注意	6
1-3 使用上のご注意	7
1-4 各部の名称	8
2. 操作前の準備	9
2-1 接続	9
3. 操作のしかた	10
3-1 操作手順	10
3-2 プログラムの修正方法	12
3-3 その他スイッチ類の働き	16
3-4 エラー表示内容	17
3-5 真空度メーターの表示	17
4. その他の調整・修理について	18
4-1 ヒーター線および絶縁布の交換方法	18
4-1-1 アップーチャンバー側	18
4-1-2 ロアチャンバー側	19
5. 困ったとき	20
5-1 トラブルの症状と対策	20
6. 保証	22
7. 仕様	23
8. アフターサービスについて	23

安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
- 表示と意味は、次のようになっています。

■ 表示の説明

表 示	表 示 の 意 味
 危険	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷(*1)を負うことがあり、その切迫の度合いが高いこと”を示します。
 警告	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷(*1)を負うことが想定されること”を示します。
 注意	“取扱いを誤った場合、使用者が傷害(*2)を負うことが想定されるか、または物的損害(*3)の発生が想定されること”を示します。

■ 図記号の説明

図 記 号	図 記 号 の 意 味
 禁止	⊘ は、禁止(してはいけないこと)を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 指示	● は指示する行為の強制(必ずすること)を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 注意	△ は、注意を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

*1: 重傷とは失明やけが、やけど(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

*2: 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。

*3: 物的損害とは、家屋・家財及び家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

■ 「安全上のご注意」の中で、本機の注意ラベルで表示しているものもあります。

ご使用になる方や他の人への危害や損害を未然に防止するため、注意事項を守り、使用するようにご指導してください。

■ 本機に表示してある「安全上の注意ラベル」が破れたり、はがれた場合は新しい注意ラベルに必ず貼り換えてください。

- ・地震、雷、火災、第三者の行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤使用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・本製品の使用または使用不能から生じる付随的な障害(事業利益の中断による損失など)に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

■使用上の安全に関する注意事項



警告

■専用コンセントを使用

- ・ヒートシール時に定格消費電力0.6kW必要ですので『専用コンセント』を使用してください。
- ・アース配線工事も必ず実施してください。そのまま使用すると「火災」「感電」の恐れがあります。



専用コンセント使用
アース工事

『火災の危険性があります』

■落雷の恐れがある時は

- ・雷がなりはじめたら、早めに電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると「火災」「感電」の恐れがあります。



コンセントを抜く

『感電、火災の危険性があります』

■機械をメンテナンスする時は

- ・必ず電源プラグをコンセントから抜くか、元電源を切ってから作業をしてください。



コンセントを抜く

『感電の危険性があります』

■パネルを外したまま運転をしない

- ・本機のパネルを外したまま運転しないでください。(お客様がケガを負う恐れがあります)



パネルを開け
運転しない

『感電の危険性があります』



注意

■包装した品物を取り出す時は

- ・蓋が完全に開いたことを確認してから取出してください。
- ・蓋の開閉時に手、指を挟むとケガをする恐れがあります。



取出し注意

『ケガの危険性があります』

■品物を取り出す時はやけど注意

- ・ヒーター部(シール台)には、直接手で触れないでください。
- ・ヒーター高温部でやけどする恐れがあります。



やけど注意

『やけどの危険性があります』

■シール時間の設定は

- ・2.0秒以下に設定してください。
- ・故障の原因となります。
- ・シール冷却は8秒以上にしてください。



シール時間の確認

『火災の危険性があります』

■設置場所の確認

- ・本機は、ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所に設置しないでください。
- ・機械が振動し、故障の原因となります。



設置場所の確認

『落下によるケガの危険性があります』

■使用上の安全に関する注意事項

危険

■爆発性ガスが発生する時は

- ・この装置は防爆構造となっておりません。
爆発性ガスが発生する品物の包装はしないでください。
- そのまま使用すると「火災」「けが」の恐れがあります。



爆発性ガス
使用禁止

『火災・けがの危険性があります』

■保全・修理について

- ・当社サービス部門へ修理を依頼される場合は、
吸引ガスの種類等を明示してください。
万が一有毒ガスの吸引をした場合装置自体が
汚染されています。



『ガスの種類によっては分解修理
出来ない場合があります』

有毒ガス
使用禁止

■機械の周辺について

- ・爆発性雰囲気では使用しないでください。
「火災」「けが」の原因になります。



爆発性雰囲気
使用禁止

『火災・けがの危険性があります』

■機械の周辺について

- ・腐食性ガス雰囲気では使用しないでください。
内部の部品が腐食し、感電・火災・けがの原因
になります。



『感電・火災・けがの危険性があります』腐食性雰囲気
使用禁止

警告

■有毒ガスが発生する時は

- ・有毒ガスが発生する品物の包装はしないで
ください。
- 万が一有毒ガスを吸引するとチャンバー、配管
等が汚染されます。



メンテナンス
注意

『メンテナンス時ご留意ください』

■禁止事項

- ・当社が認めない転売・修理・改造を行わない
でください。



転売禁止

注意

■用途について

- ・人体移植や体液・生体組織に接触する用途へは
使用しないでください。



禁止

■廃棄する場合は

- ・「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に従い、
産業廃棄物として処分することとし、焼却処分は
行わないでください。



『有毒ガスが発生します』

焼却処分禁止

1. ご使用になる前に

1-1 付属品の一覧

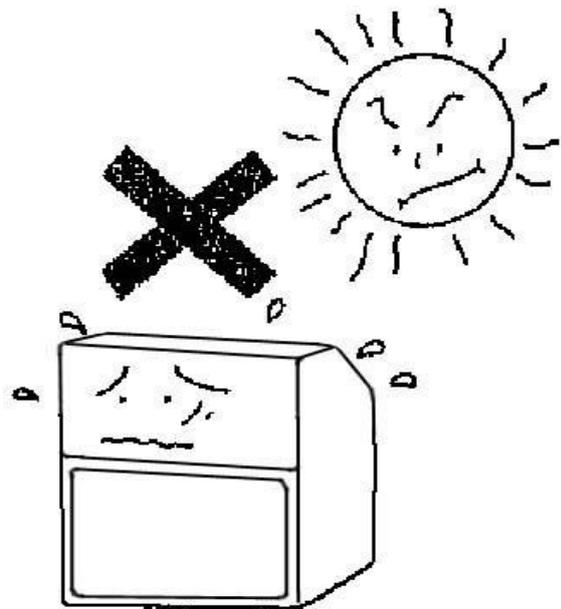
本機には、次のような付属品があります。ご使用になる前にご確認ください。

- 配線図…1
- ガラス管ヒューズ(2A)…1
- ガラス管ヒューズ(15A)…1
- ヒーター線…2
- 絶縁布…2
- シールゴム…2
- アッパーチャンバーパッキン…1
- 設定ラベル…1
- 取扱説明書…1
- 真空ホース(2m)…1
- アース線 … 1

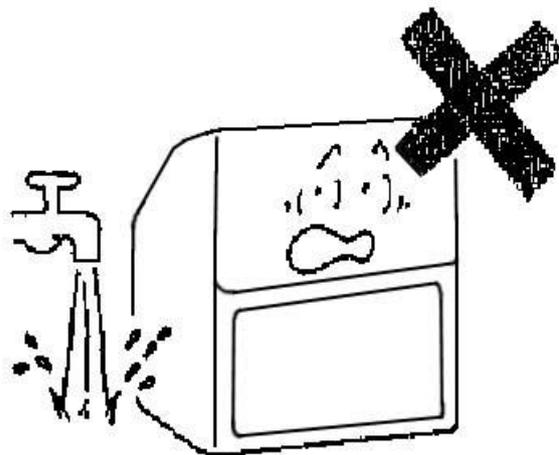
1-2 設置時のご注意

● 次のような場所は安全上、また機械の故障の原因となりますので、避けて設置してください。

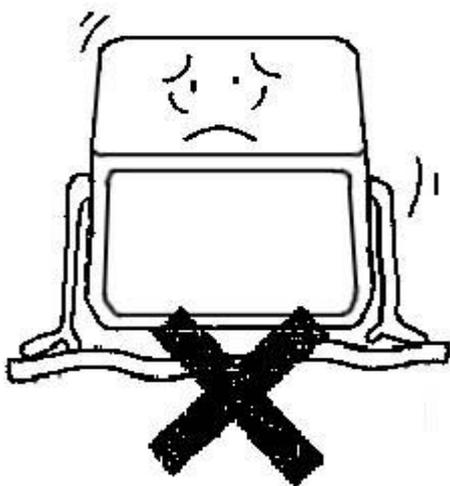
● 高温・多湿な場所



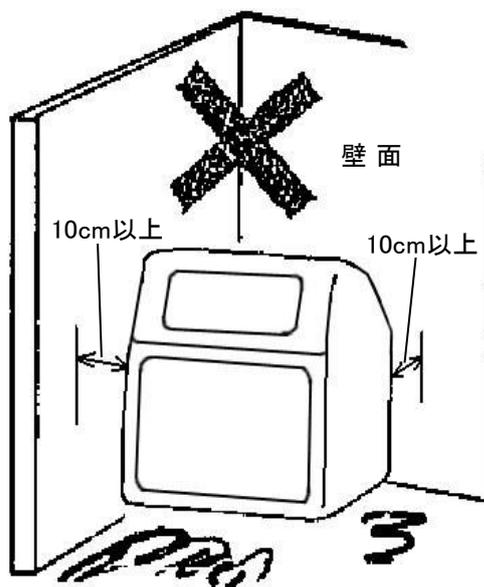
● 水などが飛び散り、漏電を起こす危険性のある場所



● 床が丈夫でなく、水平でない場所

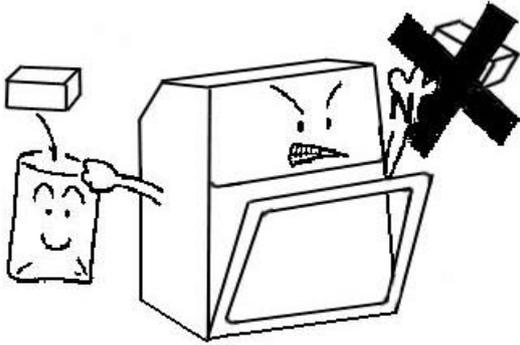


● 本機械は、放熱効果のために、周囲(壁面など)より10cm以上離して設置してください。また、前面はアッパーチャンバーが開閉するため、十分なスペースを空けてください。

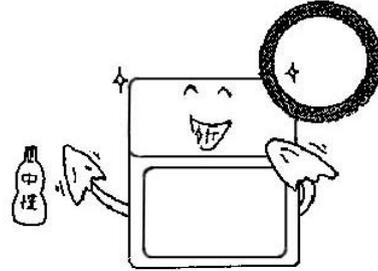


1-3 使用上のご注意

- 包装袋は真空パック用のもの以外は使用しないでください。また、包装袋なしにそのままチャンバー内に物を入れないでください。

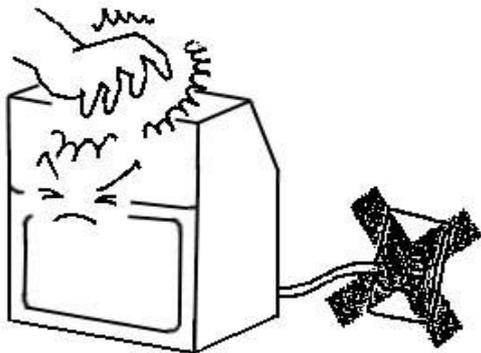


- 本機械を掃除するときは、電源スイッチを切ってから、から拭きしてください。特に汚れのひどい場合は、ぬれ布きん等に中性洗剤をしみ込ませて拭き取ってください。

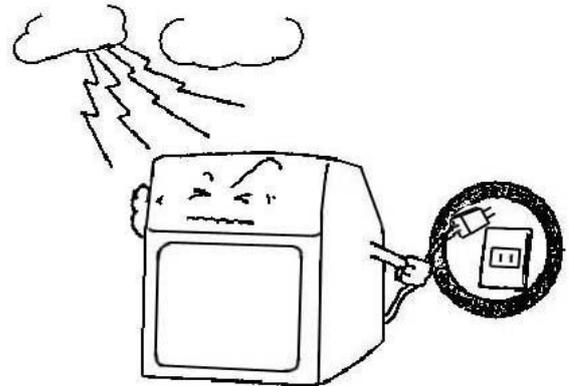


- 水洗いはしないでください。

- 機械内部を点検するときは必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

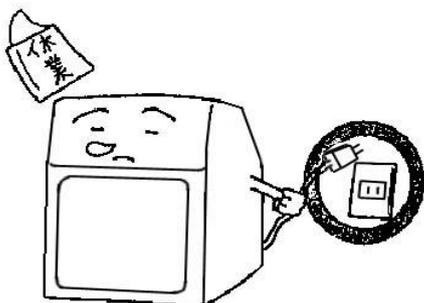


- 雷がなりはじめたら、早めに電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災、感電の原因になることがあります。

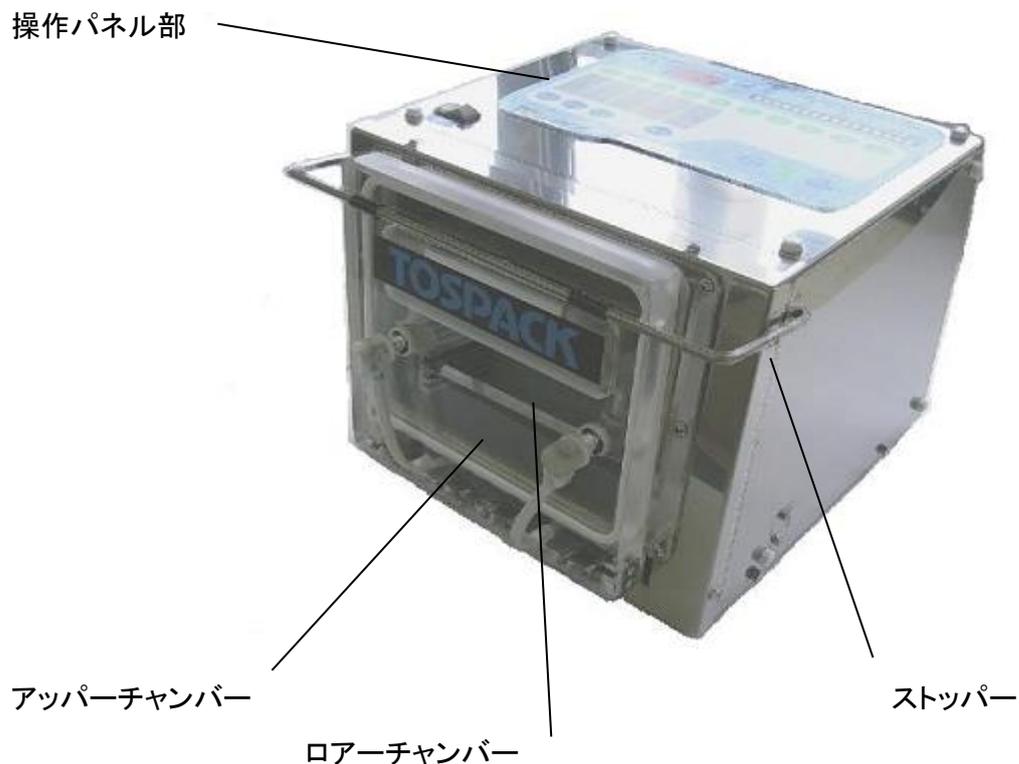


- 高い電圧の部分がありますので非常に危険です。

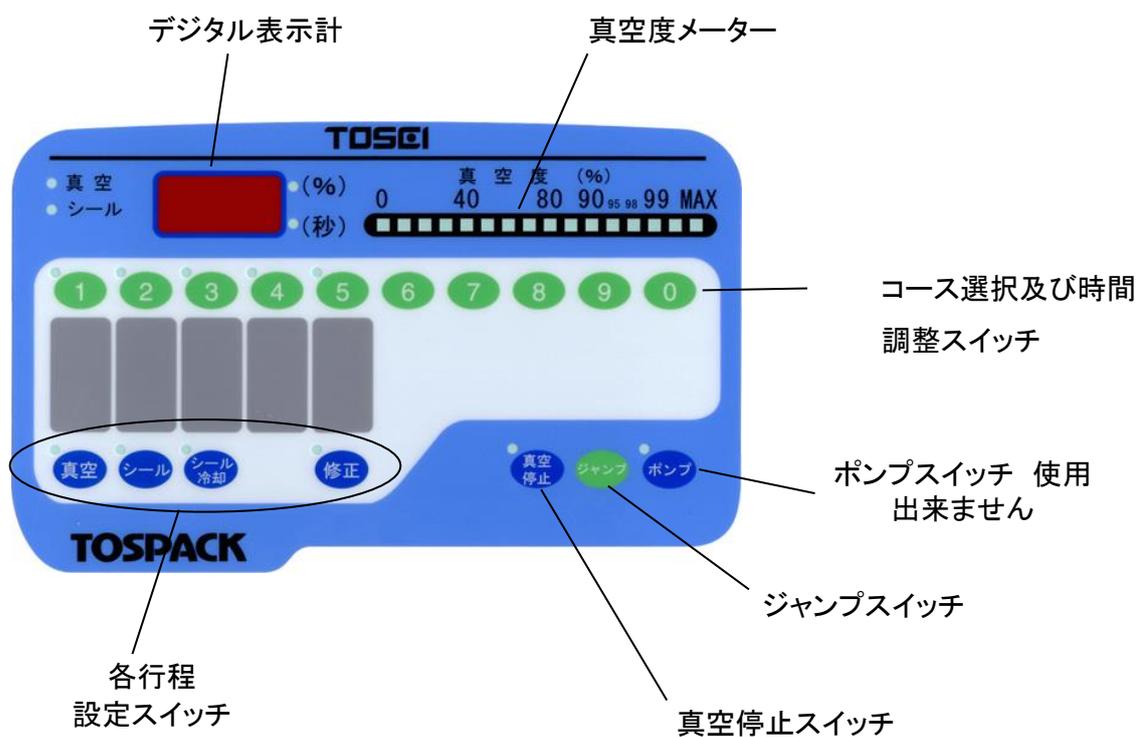
- 作業終了時は、電源スイッチを必ず切ってください。
- 長い期間保管する場合、事前にオイル交換を行って下さい。安全のために電源プラグをコンセントを抜いてください。



1-4 各部の名称



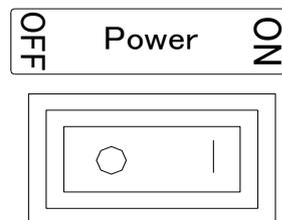
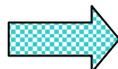
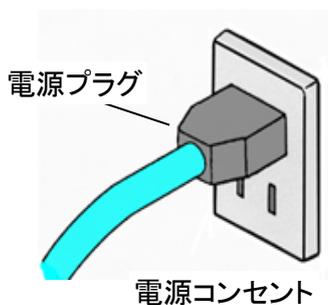
操作パネル部



2. 操作前の準備 ※アップパーチャンバーを開いた状態で進めてください。

2-1 電源

- 1 電源プラグをコンセントに確実に差込みます。(单相100V)
- 2 左側面の電源スイッチを押して入れます。



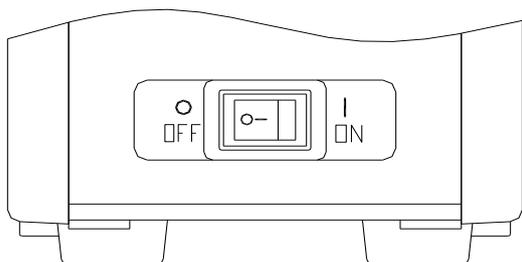
●各表示灯が点灯し、運転可能になります。

⚠ 注意

定格消費電力0.6kW必要です。専用コンセントを使用してください。
付属のアース線で接地してください。

2-2 真空ポンプ回転の確認

- 1 本体と真空ポンプをφ10フッ素チューブ2mで接続します。
- 2 真空ポンプの電源プラグをコンセントに差し込みます。
- 3 真空ポンプの電源スイッチを押してポンプが回転するのを確認してください。



3. 操作のしかた

3-1 操作手順

- 1 電源プラグがはずれていないか確認し、電源スイッチを入れます。
 - 電源スイッチを入れると操作パネルのランプが点灯します。



- 2 コースの選択
 - 包装のプログラムはあらかじめ標準設定されております。コース選択で ① ～ ⑩ を任意に選び、キーを押します。(選択されたコースのランプが点灯します)



- 1～0コースまでの各コースの標準設定は下表の通りです。

コース		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
真空	%	99.9	99.9	99	40	40	40	40	40	40	70
	秒	60	45	30	5	5	5	5	5	5	5
シール	秒	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
シール冷却	秒	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0	8.0

真空停止	秒	60
------	---	----

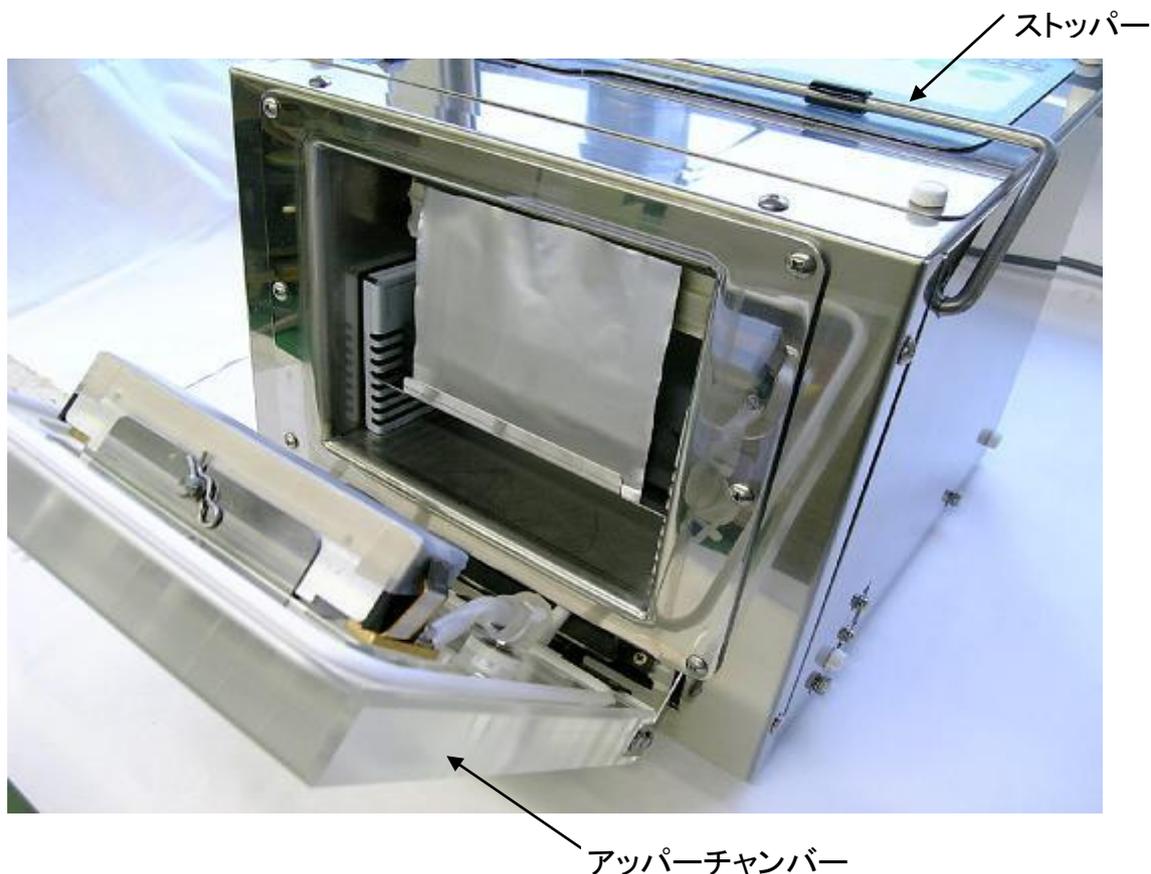
※真空の設定は「時間」「%」があります。

※**白抜**枠が初期設定になっており、修正モード中に【真空】を押すと**網掛**枠設定になります。

3 ストッパーを外し、アッパーチャンバーを開けます。

4 真空ポンプ本体のスイッチを入れます。
ポンプが作動します。

5 シールダイの高さを調整し、包装物をセットします。



6 アッパーチャンバーを閉じると真空ポンプが作動し、ロアチャンバーにアッパーチャンバーが吸い付いたらストッパーを掛けます。

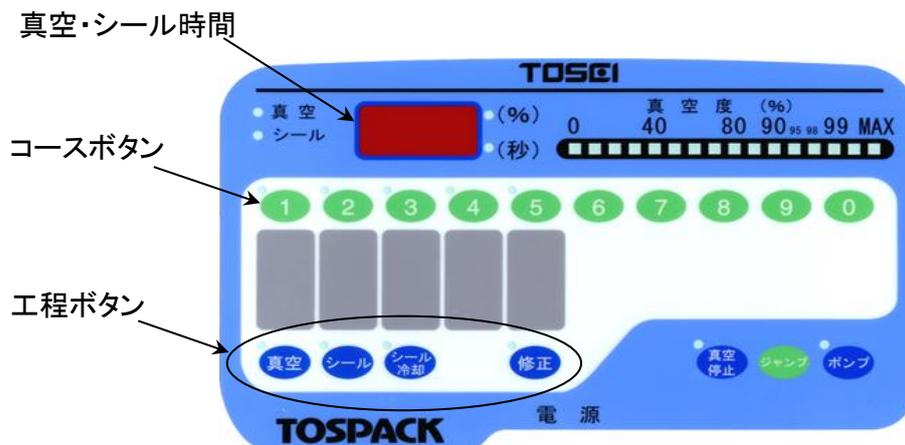
7 工程が終了し、真空開放したらストッパーを外してアッパーチャンバーを開けます。終了警報(ピィピィ)音が鳴り表示が戻ります。包装物を取り出してください。

● 同じ品物を包装する場合は、5 ～ 7 の繰り返しとなります。

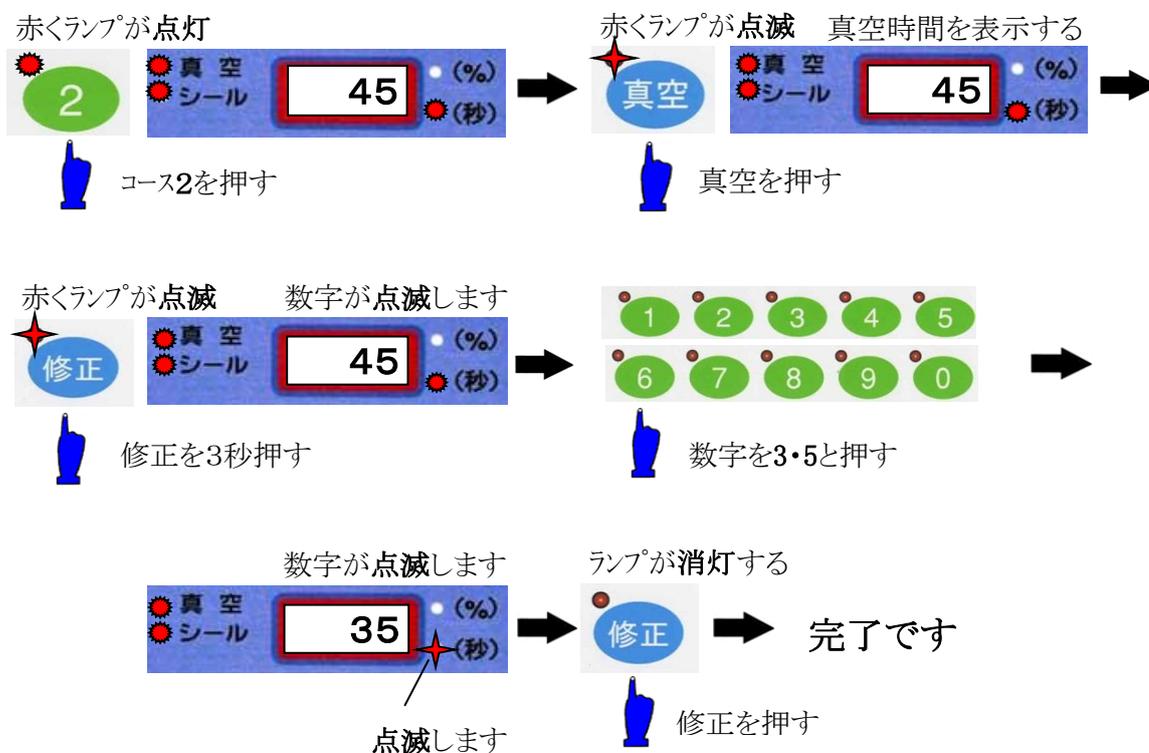
各工程の途中で包装を中止したい場合は、電源スイッチを切ってください。

3-2 プログラムの修正方法

3-2-1 真空時間の修正(変更)方法<2コース標準時間を45.0秒→35秒に変更>

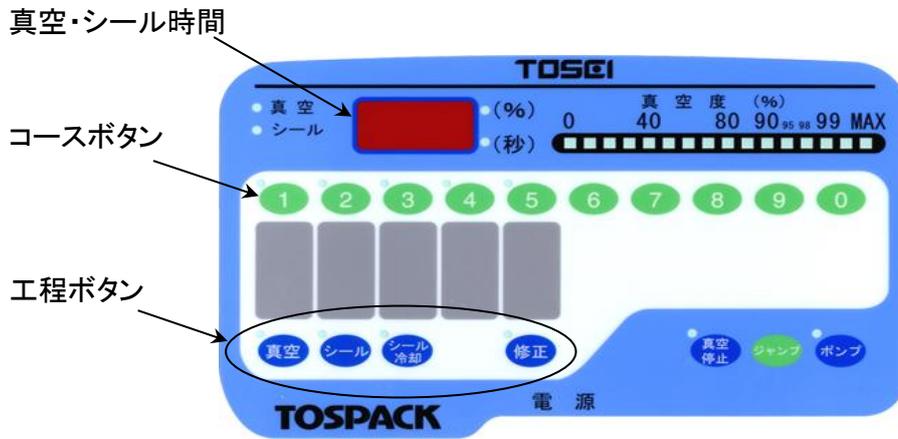


- コースの内容修正は、修正スイッチ(キー)を3秒間押すと『デジタル表示計』が点滅して各内容が修正可能となります。下記方法にて修正してください。
- 書き込みを終了する時は、修正スイッチ(キー)をもう1度押してください。

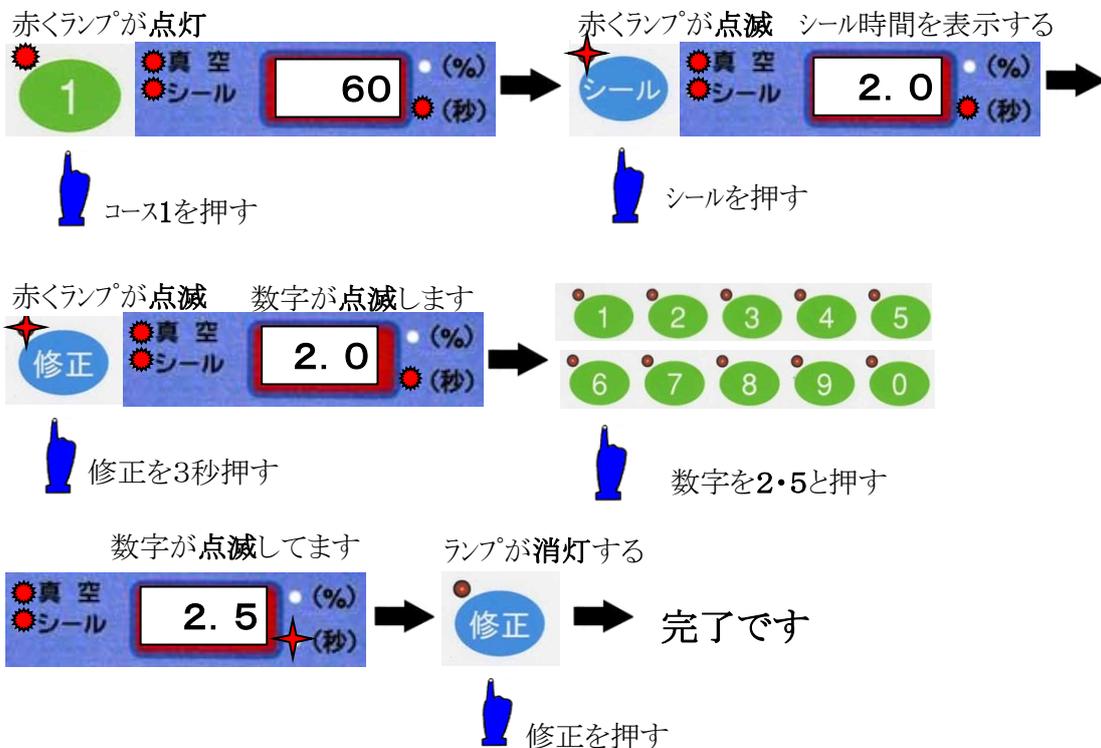


- 通常は30.0秒に設定してください。

3-2-3 シール時間の修正(変更)方法 <1コース標準時間を2.0秒→2.5秒に変更>

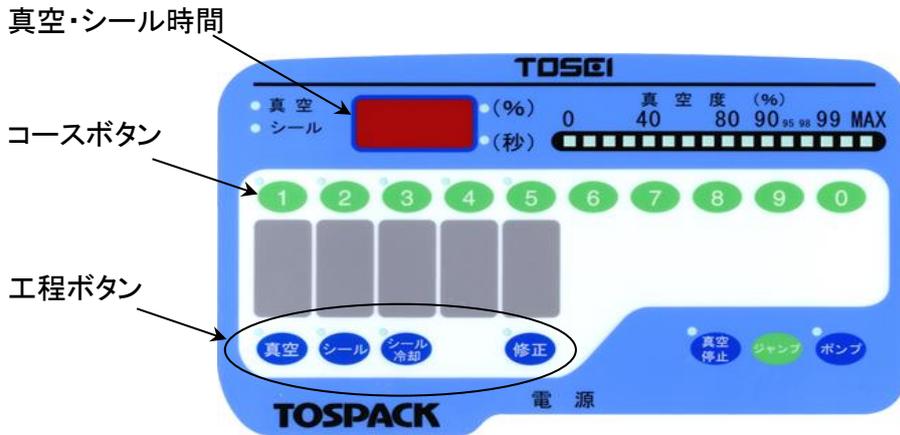


- コースの内容修正は、修正スイッチ(キー)を3秒間押すと『デジタル表示計』が点滅して各内容が修正可能となります。下記方法にて修正してください。
- 書き込みを終了する時は、修正スイッチ(キー)をもう1度押してください。

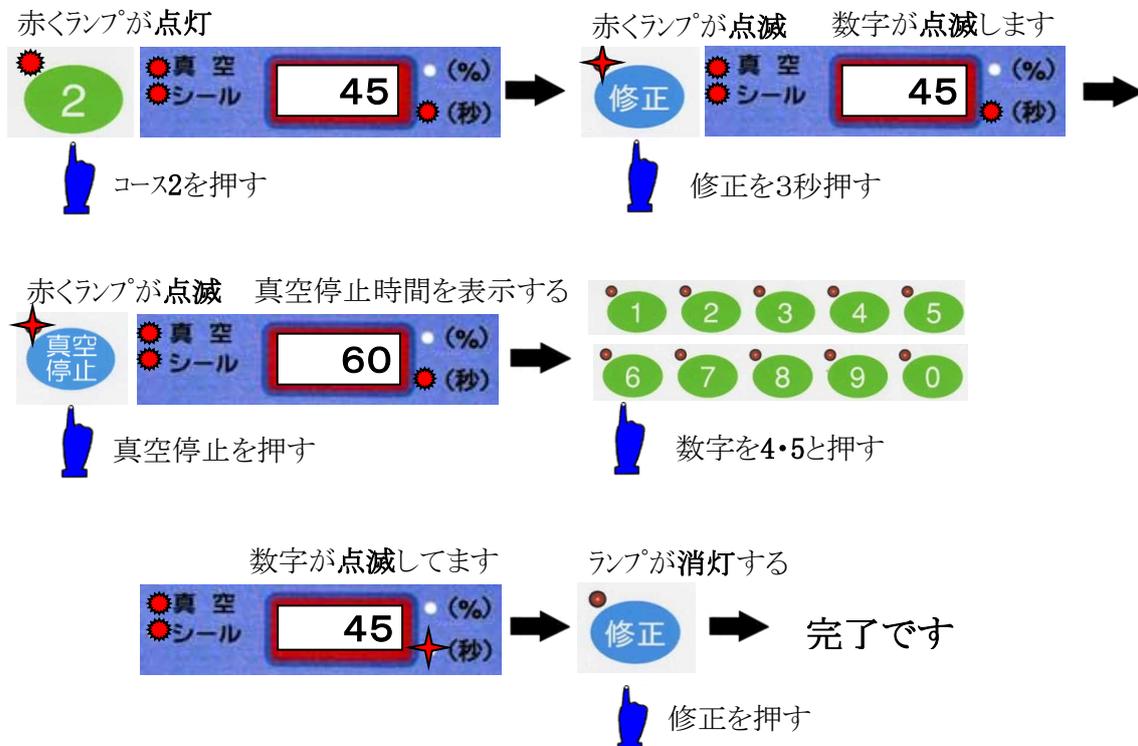


- 通常は1.8秒に設定してください。

3-2-4 真空停止時間の修正(変更)方法 <標準時間を60秒→45秒に変更>



- コースの内容修正は、修正スイッチ(キー)を3秒間押すと『デジタル表示計』が点滅して各内容が修正可能となります。下記方法にて修正してください。
- 書き込みを終了する時は、修正スイッチ(キー)をもう1度押してください。



3-3 その他スイッチ類の働き

- 「ジャンプ」スイッチ - 真空工程中にこのスイッチを押すと、次工程に移行します。

水分を含む物を包装する場合、真空工程中にその水分が沸騰したり、漏れたりする可能性があります。

これを防ぐ為、アッパーチャンバーの窓から包装物を監視しながらジャンプスイッチで次工程へ移行する事ができます。

ジャンプ



- またこのジャンプスイッチを「3秒間長押し」する事により、ポンプ運転時間を確認できます。(表示時間は10時間単位となっています)

- 「真空停止」スイッチ - 真空工程中にこのスイッチを押すと、真空状態を保ちます。

包装物の真空状態を確認したいとき、又はメンテナンス時に使用し、真空停止スイッチでチャンバー内を真空に保ちます。

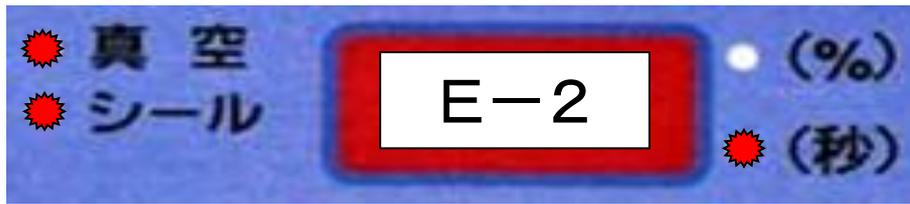
※真空停止中、時間が経過すると、真空度は少しずつ低下します。

- 真空停止後、再度このスイッチを押すと再度真空引きを行います。
- 真空停止後、停止設定時間が過ぎると再度真空引きを行います。
- またこの真空停止スイッチを「3秒間長押し」する事により、真空停止時間の変更ができます。(標準60秒設定になっています)

真空停止



3-4 エラー表示内容



No.	項目	表示	ブザー	内容	処置方法
1	ヒーター切れ	E-1	10秒間	ヒーター切れ	ヒーターヒューズの交換にて解除 電源投入時クリア
2	真空不良(1)エラー	E-2	10秒間	真空工程動作開始 5秒後に真空圧が 40%以上に到達し ないとき	電源投入時クリア
3	真空不良(2)エラー	E-3 真空工程中の み表示	なし	真空工程動作開始 20秒後に真空圧 が、90%以上に到 達しない時	真空工程終了時 クリア

3-5 真空度メーター表示



- 操作パネル中央上部に真空度メーターが設置してあります。
目盛は「0～99.9% (MAX)」まで表示されおり、MAX側にメーターが動き出すとチャンバー内部の気圧が大気圧に対して、減ってきている事を示しています。
(大気圧が「1気圧」の時、メーターが「100%近く」に達するとチャンバー内部は、ほぼ完全に(0気圧)真空になっている事を示します。

%	40	50	60	70	80	85	90	95	96.5	98	99	99.5	100
kPa	61.5	52.0	41.5	32.0	21.2	16.2	11.0	6.3	5.0	3.2	2.2	1.8	1.4

4. その他の調整・修理について

4-1 ヒーター線および絶縁布の交換方法

*ヒーター線が切れたり破損などが生じた場合には、新しいヒーター線と交換してください。

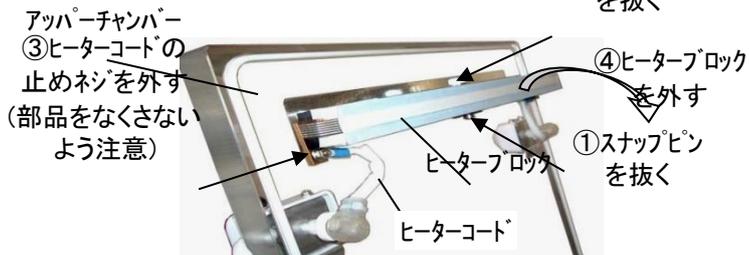


警告

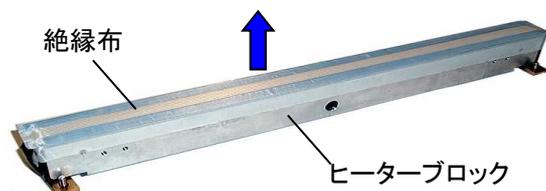
ヒーター線及び絶縁布の交換は、必ず電源を切って行ってください。
「感電の恐れがあります」

4-1-1 アッパーチャンバー側

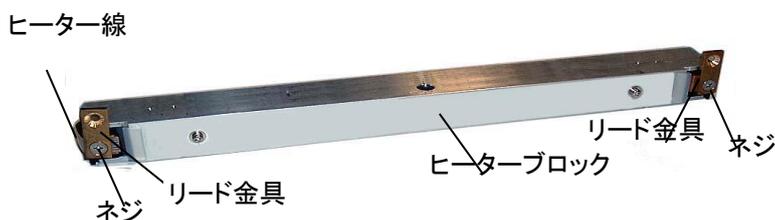
- 1 下記の手順でヒーターブロックを機械より外します。



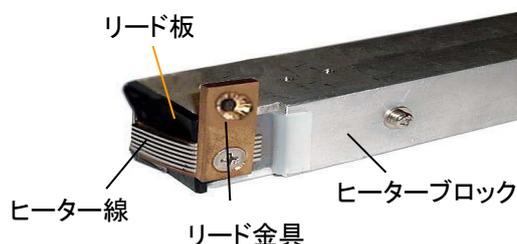
- 2 絶縁布をヒーターブロックから丁寧に剥がします。ヒーターブロックに付着した汚れは、アルコール等で拭取ってください。



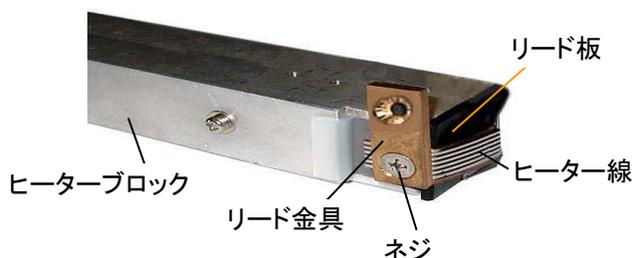
- 3 ヒーターブロック両端のリード金具取付ネジを外し、ヒーター線を外します。



- 4 新しいヒーター線の片側をリード板とリード金具の間に挟み、ネジで固定します。



- 5 ヒーター線のもう一方側をプライヤー等で強めに引き、リード板とリード金具の間に挟み、ネジで固定します。



- 6 絶縁布を、しわにならないようにヒーターブロックに貼り付け、1と逆の手順でヒーターブロックを元の位置に取り付けます。



※余ったヒーター線はハサミ等にて切断してください。

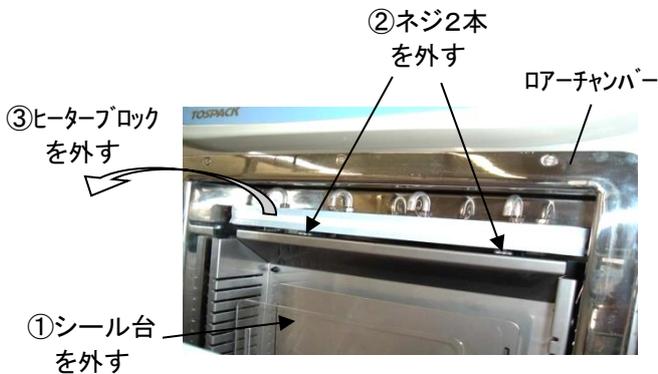
※絶縁布に「しわ」があると完全なシールができません。
きれいに貼り付けてください。

※絶縁布のみ交換する場合は、1、2、6の手順に従って貼り替えてください。

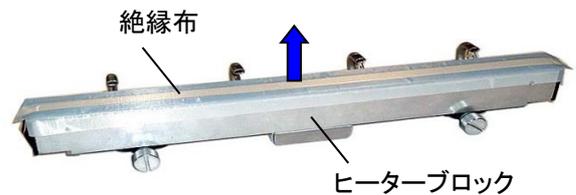
絶縁布が破損したまま使用すると、包装袋に過剰な熱を加え、包装袋破損の原因となります。

4-1-2 ローチャンバー側

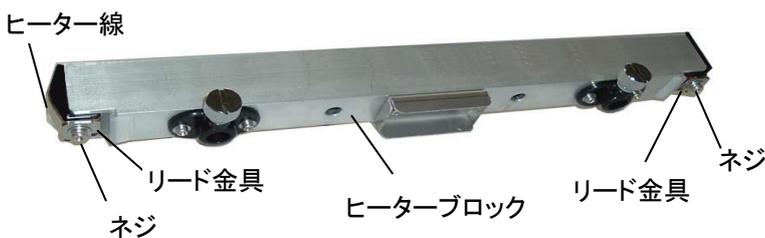
- 1 下記の手順でヒーターブロックを機械より外します。



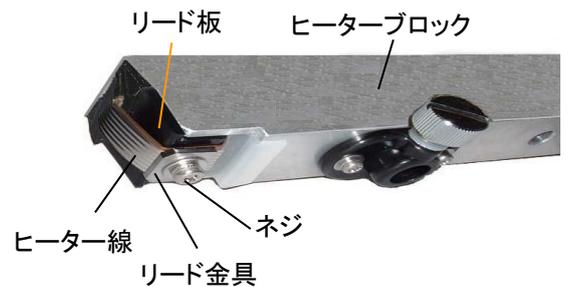
- 2 絶縁布をヒーターブロックから丁寧に剥がします。ヒーターブロックに付着した汚れは、アルコール等で拭取ってください。



- 3 ヒーターブロック両端のリード金具取付ネジを外し、ヒーター線を外します。



- 4 新しいヒーター線の片側をリード板とリード金具の間に挟み、ネジで固定します。



- 5 ヒーター線のもう一方側をプライヤー等で強めに引き、リード板とリード金具の間に挟み、ネジで固定します。



- 6 絶縁布を、しわにならないようにヒーターブロックに貼り付け、1と逆の手順でヒーターブロックを元の位置に取り付けます。



※余ったヒーター線はハサミ等にて切断してください。

※絶縁布に「しわ」があると完全なシールができません。きれいに貼り付けてください。

※絶縁布のみ交換する場合は、1、2、6の手順に従って貼り替えてください。絶縁布が破損したまま使用すると、包装袋に過剰な熱を加え、包装袋破損の原因となります。

5. 困ったとき

 注意	<p>異常の原因を取り除かないで、再度運転してもエラーが生じます。 原因の究明まで、電源を切ってください。 漏電、火災の危険性があります。</p>	 原因究明
---	---	--

ご使用中に異常が生じたときは、次の点を調べてください。

5-1 トラブルの症状と対策

No.	症 状	原 因	確 認 項 目 と 対 策
1	本体の電源を「ON」しても表示をしない。	1. 電源が入っていない。	①本体以外の電源スイッチを確認。 ②電源コンセントの電圧を確認。
		2. 電源コンセントが抜けている。	①電源コンセントを差し込んでください。
		3. ヒューズ切れ。	①本機のヒューズを交換してください。
2	電源を入れて表示はするが動かない。	1. アッパーチャンバー用リミットスイッチの位置ズレ。	①駆動用リミットスイッチの取付位置を調整してください。
3	真空ポンプは回転しているが、真空にならない。真空度が低い。	1. アッパーチャンバーの密閉不良。	①アッパーチャンバーのパッキンが破損していませんか。 ツブレ・破損部があったらパッキンを交換してください。
		2. 真空バルブの動作不良。	①販売店又は、弊社営業部へ連絡してください。
		3. 真空開放バルブの動作不良。	①販売店又は、弊社営業部へ連絡してください。
		4. 真空計のホースが外れている。	①真空計と本体を接続してください。
		5. 真空ポンプが壊れている。	①販売店又は、弊社営業部へ連絡してください。
		6. 気温が低い	①常温で使用してください。
4	シールをしない。	1. ヒーター線が断線している。	①取扱説明書「ヒーター線及び絶縁布の交換方法」を参照してヒーター線を交換してください。
		2. ヒーターブロックが動かない。	①シリンダーのホースがはずれてないか確認してください。
		3. シールバルブの動作不良。	①販売店又は、弊社営業部へ連絡してください。
		4. シールタイマーの設定不良。	①シールの設定秒数が適切か確認してください。

No	症 状	原 因	確 認 項 目 と 対 策
5	シール不良。 (完全でない)	1. シールタイマーの設定不良	①シールタイマーの設定時間を変えて みてください。
		2. 包装袋の材質・厚さが適正でない。	①包装袋の材質・厚さを適正な包装袋 に交換してください。
		3. 絶縁布・シールゴムの汚れ。	①絶縁布又は、シールゴムが汚れてい ませんか。汚れている場合は汚れを 拭きとってください。
		4. シールゴムの破損。	①シールゴムを交換してください。
6	真空開放しない。 真空開放が遅い。	1. バルブが開まっている。	①「真空開放バルブ」を適正な位置まで 開けてください。
		2. シール時間が長すぎる。	①シール時間は適正ですか。包装袋の 材質・厚さを考慮したシール時間に 設定し直してください。
		3. サイレンサーの目詰まり。	①真空開放弁についている「サイレンサー」 を交換してください。
		4. 真空開放バルブの作動不良。	①バルブの交換。 ②制御基板の交換。 ※①・②は販売店又は、弊社営業部へ 連絡してください。

注 意 事 項	<p>■酸性の食材(酢の物・レモンライス)等のパックを行った後は直ぐに清掃する ・ヒーター部及びチャンバー内の細部まで清掃(水拭き後 乾拭き)をして下さい。 『錆付き腐食・塗装剥がれ等の故障原因となります』</p>
------------------	---

 注意	<p>処置を行ってもエラーが解除にならない場合は、お買上げの 「販売店」までお問い合わせください。</p>	 専門業者 へ依頼
---	---	--

6. 保証

- ご不明な点や修理に関するご相談
 - ・修理に関するご相談ならびに、お取り扱い・お手入れに関するご不明な点はお買い上げの販売店にご相談ください。

- 保証書（別添）
 - ・保証書は別途添付しております。
 - ・保証書は必ず「お買い上げ日、販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取って頂き内容を良くお読みになった後、大切に保管してください。
 - ・本機の保証期間はお買い上げ頂いた日から「1年」です。
その他、詳しくは保証書をご覧ください。

- 補修用性能部品の保有期間
 - ・本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後「7年」です。
 - ・補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

- 修理を依頼されるときは
 - ・異常があるときは、お使いになるのをやめ、電源を切りましてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- 保証期間中
 - ・保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。
なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。
- 保証期間が過ぎている場合
 - ・保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。
修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

《免責事項について》

- ・地震、雷、火災、第三者の行為、その他の事故、お客様の故意又は過失、誤使用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
 - ・本製品の使用又は使用不能から生じる付随的な障害（事業利益の中断による損失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。
 - ・取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
-
- 廃棄するときは
 - ・製品を廃棄するときは専門の廃棄業者へ依頼してください。
詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。

7. 仕様

No.	項目	単位	SV-150
1	本体寸法 W×D×H	mm	337×318×317
2	蓋開寸法 W×D×H	mm	337×435×317
3	チャンバー内寸法 W×D×H	mm	182×160×85
4	チャンバー材質	—	SUS316L
5	真空配管	—	フッ素チューブ
6	最大袋寸法	mm	140×150
7	シール有効長さ	mm	上下フラット 140
8	接着部使用温度	℃	180
9	電源	—	AC100V 50/60Hz
10	電動機容量	kW	0.05
11	定格消費電力	kW	0.6
12	真空ポンプ排気速度	L/min	20(50Hz)/24(60Hz)
13	推奨使用温度	℃	約20～30℃
14	重量	kg	19.5

※本機は電気用品安全法の登録電気用品「特定以外の電気用品」です。
※本機の仕様及び外観は、改善のため予告なく変更することがあります
のでご了承ください。

8. アフターサービスについて

ご使用中に異常が生じたときは、使用をやめ電源プラグを抜いてお買上げの販売
代理店にご相談ください。
尚、その際に真空包装機の形式名、製造No.、およびお買上げ時期をお知らせください。

販売店名：

TEL：() — 購入年月日： 年 月 日

本取扱説明書において掲載されているすべての内容の著作権は、株式会社TOSEI(以下当社といいます)に帰属しています。

著作権法および関連法律、条約により、私的使用など明示的に認められる範囲を超えて、本取扱説明書の掲載内容(文章、画像、映像、プログラムなど)の一部およびすべてについて、事前の許諾なく無断で複製、転載、送信、放送、配布、貸与、翻訳、変造することは、著作権侵害となり、法的に罰せられることがあります。

このため、当社の許可無く、掲載内容の一部およびすべてを複製、転載または配布、印刷など、第三者の利用に供することを禁止します。

株式会社 TOSEI

本 社・工 場	〒410-2325 静岡県伊豆の国市中島244	☎: 0120-557-338
東 京 支 社	〒141-0022 東京都品川区東五反田1-24-2	☎:(03)6422-7290(代)
中 部 支 店	〒465-0032 愛知県名古屋市名東区藤が丘141	☎:(052)772-3988(代)
関 西 支 店	〒564-0051 大阪府吹田市豊津町30-28	☎:(06)6338-9601(代)
九 州 支 店	〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東2-8-3	☎:(092)482-6613(代)
東北営業所・広島営業所・鹿児島営業所		

●ホームページのアドレス <https://www.tosei-corporation.co.jp/>